

白百合女子大学 図書館ピアサポーター LiLiA¹

LiLiAの皆さんは図書館ピアサポーターとして、企画展示や利用者案内を中心に学内外で活動されています。「LiLiA」とは「Library Liaison Assistant」の略であり、Liaisonとはフランス語でつながるという意味です。

フリーペーパー²を発行し、その詳しい活動内容も紹介しています。

近年は図書館と学生、人と人、学生と本を繋げるお手伝いを主に行っています。例えば学生同士でのレファレンスでは、声をかけやすい、聞きやすいなどの利点もあります。白百合祭にも初出展し、図書館総合展ではポスターセッションに参加するなど、近年はますます活動の幅を広げ、それをきっかけに他大学とも関わることも増えてきました。

LiLiA公式キャラクターのミス・リリアーナは、学生のデザインから全学の投票で決定されたもので、エプロンやTシャツにも活用されています。更に、リリアーナだけでなく非公式キャラクターも増殖中で、活動拠点となる「リリアの部屋」も美しく装飾されています。

白百合女子大学では、学生の皆さんは複数の部活動に所属するのが普通だとのことです。

LiLiA Q&A

- どういうきっかけでLiLiAに入ったのですか？
 - 高校時代から司書になりたいと思っていました。
 - 高校時代にずっと図書委員だったので。
 - 小さい頃から2つの図書館のヘビーユーザー。説明会でLiLiAを知って、入るしかないな、と思いました。

- 図書館総合展で他大学と交流を始めたきっかけは？先生の誘導？
 - 学生が自主的に交流活動を始めました。それ以来、今も続いています。

¹ 図書館ピアサポーター “LiLiA” (白百合女子大学図書館)
<http://www.shirayuri.ac.jp/lib/lilia/>

² LiLiA Times 創刊号 <http://www.shirayuri.ac.jp/lib/lilia/pdf/liliatimes201101.pdf>

- 活動内容は学生が自主的に決めているのですか？
 - 高校生にもオープンキャンパス内でも LiLiA の存在感を印象付ける様に活動しています。
 - 現在の所属人数はだいたい 20 人くらいです。
 - 学生の中からも希望があり、学校側からもそのような活動が望まれていました。

- 「LiLiA TIMES」を発行する時の苦労は？
 - まず、先生を捕まえることです！
 - 締切を守ってもらうこと。原稿を貰うまでねばります！

- リリアーヌちゃんはなぜヤモリなのですか？
 - 株式会社ブレインテックが運営する「Jcross」に全学投票で選ばれた当時の事情が載っています³。そこで全て説明されているので、ぜひ読んでみて下さい。

(記・平松奈緒子)



³ 「図書館ピアサポーターLiLiA ー注目！学生図書館サポーターズ」(2014年10月30日掲載) <http://www.jcross.com/plaza/tokatsu/post-19.html>